

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第182号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年7月8日 13時35分ごろ	
発生場所	千葉県浦安市浦安ディファレンシャルGPS局から真方位294° 1.32海里付近 (概位 北緯35° 37.55′ 東経139° 52.38′)	
事故等調査の経過	平成21年7月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ケミカルタンカー 第三新興丸 ^{しんこう} 、52トン 135018、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者	なし	
損傷	右舷船底ビルジキール曲損、推進器翼3枚曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、パーム油約100トンを積載し、船首約1.5～1.6m、船尾約2.0mの喫水で、江戸川区沖の三枚州と東京ディズニーシーの間の水路を旧江戸川河口に向け航行中、船底に異常を感じ、機関を停止して状況を確認中、南寄りの風浪により陸岸に圧流され、東京ディズニーシーの護岸南西角付近の浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南南西、風力 6 海象：潮汐 上げ潮初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、三枚州東側の水路を航行中、船底に異常を感じ、機関を停止して状況を確認していた際、船位の確認を行わなかったため、南寄りの風浪により陸岸に圧流された可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が三枚州東側の水路を航行中、船底に異常を感じ、機関を停止して状況を確認していた際、船位の確認を行わなかったため、南寄りの風浪により陸岸に圧流され、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	